

大阪大学

学術研究機構会議主催アウトリーチ活動

# リサーチクラウドカフェ

参加無料

・事前の参加申込不要  
・途中入退場自由

「知」のサイクルを  
共に回しませんか？



開催日時 \*各日の内容は裏面をご覧ください

2018. 9.5 (水) | 10.10 (水) | 11.14 (水) | 12.12 (水)

各回 19:30 ~ 20:30 (開場18:30)

開催場所

アートエリア B1 <http://artarea-b1.jp>

所在地

〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-1 京阪電車なにわ橋駅 地下1階  
京阪電車中之島線「なにわ橋駅」地下1階コンコース

(地下鉄「淀屋橋駅」「北浜駅」から徒歩約5分)

「なにわ橋駅」①出入口が最寄りとなります。

※ 直通的エレベーターはございませんので、車いすでお越しの場合は、  
あらかじめアートエリア B1までご連絡いただきますようお願いいたします。

会場に関するお問い合わせ

アートエリア B1 TEL. 06-6226-4006 (12:00~19:00) ※月曜休(祝日の場合は翌日)

リサーチクラウドカフェに関するお問い合わせ

大阪大学学術研究機構会議(大阪大学情報推進部情報企画課総務係) TEL. 06-6879-8804



主催: 大阪大学学術研究機構会議 /  
アートエリア B1【大阪大学+NPO法人ダンスボックス+京阪ホールディングス(株)】  
企画制作: 大阪大学共創機構社会学共創本部21世紀懐徳堂 / NPO法人ダンスボックス

大阪大学  
OSAKA UNIVERSITY

京阪電車 なにわ橋駅  
アートエリア ビーワン

ラボカフェ

平成30年度 第1回 **9月5日**(水)

## 実験から読み解く経済制度と個人の意思決定

ゲスト **社会経済研究所 舛田 武仁**(ますだ たけひと) 講師

舛田講師は、被験者を用いた実験による経済理論の検証に取り組む研究者です。経済学では長い間、人々は自分が得をするように非常に計算高く行動すると仮定されてきましたが、被験者を用いた実験研究がそうとは限らないことを示しています。今回は、まず経済学における実験アプローチとはどのようなものかをわかりやすく解説していただくとともに、人々の投資行動に関する最新の研究成果についてお話を伺います。



ゲストプロフィール

大阪大学 社会経済研究所 講師 舛田 武仁(ますだ たけひと)  
大阪大学大学院経済学研究科経済学専攻博士後期課程修了、博士(経済学)(大阪大学)  
主な経歴:高知工科大学総合研究所助手、日本学術振興会特別研究員PD、2015年12月からK-CONNEX研究者として京都大学経済研究所特定助教、2017年8月より現職。  
専門は、実験経済学、被験者実験を用いた制度設計、ゲーム理論、意思決定理論。

平成30年度 第2回 **10月10日**(水)

## 見えないものを観る ～からだの中の分子のはたらき～

ゲスト **蛋白質研究所 原田 慶恵**(はらだ よしえ) 教授

原田教授は、1個1個のタンパク質分子を顕微鏡で観察して、その機能を調べる研究を行っています。私たちのからだは、たくさんの細胞からできています。細胞の中をのぞいてみると、そこでは、さまざまなタンパク質分子が働いています。生き物のことを知るためには、タンパク質分子が働く仕組みを調べることがとても大事です。でも、タンパク質分子はとても小さいので、直接目で見ることはできません。そこで、ちょっと工夫してタンパク質分子に目印をつけると、顕微鏡を使って観察することができるようになります。今回は小さな小さなタンパク質分子が働く様子を観察する方法についてご紹介します。



ゲストプロフィール

大阪大学 蛋白質研究所 教授 原田 慶恵(はらだ よしえ)  
大阪大学大学院基礎工学研究科物理系専攻博士後期課程修了、工学博士(大阪大学)  
主な経歴:ERATO 柳田生体運動子プロジェクト研究員、慶応義塾大学理工学部講師、東京都臨床医学総合研究所副参事研究員、京都大学物質・細胞統合システム拠点教授を経て、2016年7月より現職。  
専門は、生物物理学。

平成30年度 第3回 **11月14日**(水)

## エネルギー・エントロピーを測る ―物質の中の常識と非常識―

ゲスト **理学研究科附属構造熱科学研究センター 中澤 康浩**(なかざわ やすひろ) 教授

中澤教授は、国際的にもユニークな学術分野として知られている熱科学の研究センターで、精密な熱測定手法の開発を行い、その手法を使って物質中の様々な新規現象を、エネルギー・エントロピーを通して探索しています。熱力学は自然界の森羅万象をすべて支配していると言われており、それは物質の中でも成り立っています。聞きなれないエントロピーという言葉ですが、それをどのように測るのか、またそれがどのような意味をもつか説明して頂きます。さらに、このような熱力学量の測定を通してみた分子性の化合物がもつ様々な姿と、いくつかの物質がもつ常識から外れたような新しい側面についても紹介して頂きます。



ゲストプロフィール

大阪大学 理学研究科教授・附属構造熱科学研究センター長 中澤 康浩(なかざわ やすひろ)  
東京大学大学院理学系研究科物理学専攻博士課程修了、理学博士(東京大学)  
主な経歴:日本学術振興会特別研究員、岡崎国立研究機構分子科学研究所助手、大阪大学大学院理学研究科助手、東京工業大学大学院理工学研究科助教、大阪大学大学院理学研究科教授、2012年4月より現職。  
専門は、物性熱力学。

平成30年度 第4回 **12月12日**(水)

## シミュレーションの信頼性

ゲスト **サイバーメディアセンター 宮武 勇登**(みやたけ ゆうと) 准教授

宮武准教授は、紙と鉛筆では解けない数学の問題をコンピュータを使って解くためのアルゴリズムの研究に取り組んでいます。今回は、シミュレーションに潜む落とし穴に焦点をあて、日常生活に直結する例や電卓や表計算ソフトなどでも実感できる例を紹介した後、結果を信頼できるシミュレーションを行うためのアルゴリズムを応用数学の立場からどのように研究しているかを紹介します。



ゲストプロフィール

大阪大学 サイバーメディアセンター 准教授 宮武 勇登(みやたけ ゆうと)  
東京大学大学院情報理工学系研究科数理情報学専攻博士後期課程修了、博士(情報理工学)(東京大学)  
主な経歴:名古屋大学大学院工学研究科助教を経て、2018年4月より現職。  
専門は、応用数学、数値解析、数理工学。